ひのはら社協だより

第 173 号
発　行
社会福祉法人
檜原村社会福祉協議会
東京都西多摩郡檜原村2717
☎（042）598−0085
http://hinoharasyakyo.jimdo.com/
E-mail.hinohara-syakyo@helen.ocn.ne.jp

● ともにささえあい　元気にくらせる　やすらぎの村 ●

謹賀新年 2022年

デイサービス

児 童 館

デイサービス

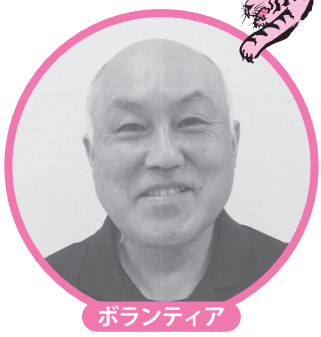
とら年 年男・年女

今年は新しいことにトラ（寅）イ！

デイサービス

児 童 館

児 童 館


ボランティア

「仕事始め」のお知らせ

社協の運営する右記の各施設等は
1月4日（火）より通常業務を行います。

- 事務局
- 児童館
- 福祉作業所
- 高齢者在宅サービスセンター
  - デイサービス
  - ホームヘルプサービス

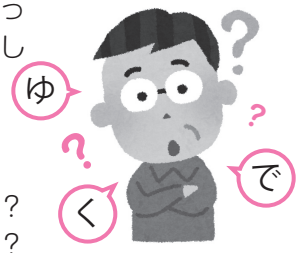
••• 目　次 •••

● 新年のご挨拶　P. 2
● 赤い羽根共同募金の報告とお礼　他　P. 3
● 地域福祉権利擁護事業のご案内　P. 4
● 教育支援資金のご案内　P. 5
● 檜原ボランティアセンターだより　P. 6
● 高齢者在宅サービスセンターだより　P. 7
● ゆうあい館だより　P. 8

脳トレで脳を活性化しよう！！

『文字ならべ』ばらばらになった文字を並び替えて言葉にしてください。

①ちょおりりせう　⇒　？
②ゆなくながさ　⇒　？
③びんねこきんけく　⇒　？
④たれーでんばいん　⇒　？



答えは３ページに記載してあります

新年のご挨拶

社会福祉法人
檜原村社会福祉協議会
会　長　数　馬　　守

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、檜原村社会福祉協議会の運営に多大なご理解ご協力をいただき、心から御礼を申し上げます。

さて、令和 3 年は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が再び出されるなど、令和 2 年を引きずった前半となりましたが、後半になり日々の感染者数も激減し、大分収束の兆しが見え、皆様におかれましても少し安堵できたのではないでしょうか。

しかし、コロナ感染症が感染拡大する前の生活に戻れることはなく、今後も引き続き新型コロナに注意を払っての活動を余儀なくされる状況は続くと考えられる中、令和 4 年も当会では「ともにささえあい　元気に暮らせる　やすらぎの村」を目標に豊かな地域社会の実現に向け、役職員一丸となって人と人とのつながりが途切れないよう、また、必要な方に必要なサービスを提供できるよう事業を進めてまいりますので、皆様には引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして健康で喜びと希望に満ちた良い年になりますよう、心からご祈念を申し上げ、新年のご挨拶といたします。

歳末たすけあい募金にご協力ありがとうございました

昨年も皆様のお力添えによりたくさんの募金をお寄せいただきました。

皆様の温かいお気持ちは、困窮家庭、障がいをお持ちの方や介護をされている方への見舞金としてお届けしました。また、翌年度の地域福祉活動費（ふれあいサロン事業など）として、檜原村の地域に根ざした地域福祉推進の財源としても大切に活用させていただきます。

詳細につきましては後日改めてご報告させていただきます。

令和３年度　赤い羽根共同募金の報告とお礼

１０月1日から３１日までの１ヶ月間、各世帯には、自治会の役員さんを通じてお願いし、また窓口募金として村内６ヶ所に募金箱の設置を行い、赤い羽根共同募金運動を実施いたしました。

なお、ご協力いただきました募金は全額東京都共同募金会へ納付させていただきました。

ご協力誠にありがとうございました。

自治会別募金額

自治会名	件　数	金　　額	自治会名	件　数	金　　額	自治会名	件　数	金　　額
下元郷	52 件	10,400 円	事　貫	21 件	4,200 円	大　沢	13 件	2,600 円
上元郷	55 件	11,000 円	上　平	21 件	4,200 円	神　戸	43 件	8,600 円
本　宿	47 件	9,400 円	笛　吹	14 件	2,800 円	宮ヶ谷戸	43 件	8,600 円
笹　野	22 件	4,400 円	数馬下	20 件	4,000 円	夏　地	29 件	5,800 円
柏木野	43 件	8,600 円	数馬上	22 件	4,400 円	湯久保	22 件	4,400 円
出　畑	32 件	6,400 円	茅　倉	8 件	1,600 円	小　岩	45 件	9,000 円
下川乗	34 件	6,800 円	千　足	29 件	5,800 円	笹久保	20 件	4,000 円
上川乗	14 件	2,800 円	中　里	16 件	3,200 円	藤　倉	34 件	6,800 円
和　田	18 件	3,600 円	白　倉	27 件	5,400 円	募金箱	（6ヶ所）	6,246 円
						合　計	744 件	155,046 円

心温まるご寄付及び募金をいただきました。ありがとうございました。

●寄付金・募金

区　分	氏　名	金　額
寄付金	匿名	10,000 円
寄付金	匿名（上元郷）	10,000 円
一円玉募金	匿名	1,687 円

●寄付物品

団体名	品名・数量
あきる野商工会女性部	タオル　２００枚

（令和3年10月15日～令和3年12月10日　敬称略・順不同）

【脳トレの答え】

①おせちりょうり　②ななくさがゆ　③けんこくきねんび　④ばれんたいんでー

あなたの暮らしの安心をお手伝い

地域福祉権利擁護事業のご案内

福祉サービスを上手に利用できないことから、身のまわりのことが十分にできなかったり、日常生活に必要なお金の管理に不安を抱えている方々に対して、必要なお手伝いを行い、地域で安心して暮らせるよう支援する福祉サービスです。

たとえば、Aさん（80 歳）一人暮らしの場合

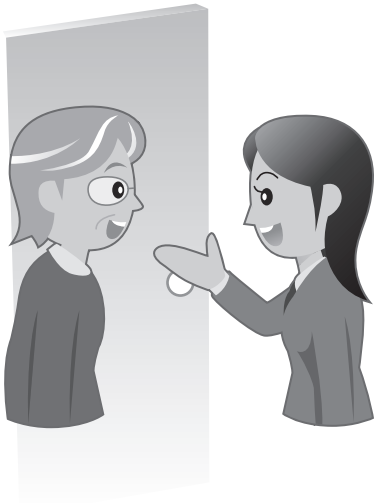
1

食事に、洗濯、掃除…。
身体がしんどい。
おっくうになってきた。

お金を払いにいかなくちゃ。
あれ？ 通帳…、どこ？

2

困りごとに気づいた民生委員さん
『社協に手伝ってくれる
制度がありますよ。』



『そんじゃあ、聞いてみんべぇか。』

3

『こんにちは。
社協から参りました
専門員の中村です。

お困りごとなどお話を
お伺いします。』

何度か訪問し、お話を伺えたところで、Aさんの希望や生活の様子に合わせて支援計画を立てます。

4

利用契約を結び、
サービスが開始します。

Aさんの支援計画

① ホームヘルプサービスの利用手続き
② Aさんの希望で、通帳を社協がお預かりし月に2回訪問。生活費の払い戻しや支払いなどのお手伝い。

※ご相談や訪問調査、支援計画の作成は無料です。契約締結後の支援については利用料がかかります。
※お手伝いの必要がなくなれば、いつでも契約をとりやめることができます。

詳しくは 檜原村社会福祉協議会 へお問合せください。

総務担当 ☎ 042-598-0085

進学を考えている皆様、ご家族の皆様

生活福祉資金貸付制度 教育支援資金 をご存じですか？

「教育支援資金」は生活福祉資金の中の一資金です。資金を貸付することにより、進学や修学の継続を支援し、世帯の将来的な自立につなげることを目的としています。修学中から卒業後に就職して返済を終えるまで、継続的に相談支援する制度です。

教科書代とか、授業料とか払っていけるか心配…。

1. 教育支援費

高校や大学等に支払う授業料や教科書代、実習費用などを支援します。

◎貸付できる額

［高　等　学　校］　月額 35,000 円以内
［高等専門学校］　月額 60,000 円以内
［短　期　大　学］　月額 60,000 円以内
［大　　学］　月額 65,000 円以内

こどもの進学で入学金や制服が高くて支払が難しい…。

2. 就学支度費

高校や大学の入学にあたり、学校に納める入学金や制服等の費用を支援します。

◎貸付できる額　500,000 円以内

■貸付利子・返済（償還）期間

・貸付決定時に定めた返済期間内においては、無利子です。
・当該の学校を卒業後、６ヵ月の据置期間を経て、返済 (償還) が始まります。
・返済期間は最長で１４年です。毎月、計画に沿った金額で返済していただきます。
・原則として、金融機関の口座引落しをご利用いただきます。

●貸付対象となる収入の基準があります。

●就学する本人が借受人となります。当該者は主に未成年であることから、生計中心者が連帯債務を負担する連帯借受人として加わっていただきます。

●借り入れ申込時から償還完了まで「社会福祉協議会」と「民生委員」が世帯の支援に関わります。

●単に金銭の必要性のみで貸付を行うのではなく、資金を必要とする事情、家計の収支、将来の見通しなど、日常生活への支援についても考慮しながら貸付の審査を行いますので、申し込みから貸付決定までに １ ヵ月以上の期間を要することがあります。

※原則として、教育支援資金より優先する制度を利用していただいた上で、他制度では対応しきれない不足分を貸付します。

相談窓口　檜原村社会福祉協議会 総務担当 ☎ 042-598-0085

檜原ボランティアセンターだより

災害ボランティア講座のご案内

参加費
無　料

毎年自然災害が発生している日本。自然災害が起きるとどんな被害になるのか、ボランティアに求められる役割、そしてボランティアの心構えを考えてみましょう。

●**日　時：令和４年２月２６日（土）**
１３：３０～１５：００
（受付１３：００～）

●**内　容**：講演会
テーマ「自然災害の現場と課題
そしてボランティアの心構え」

●**場　所：やすらぎの里**
ふれあい館３階
多目的ホール

●**対象者：村内在住・在勤の方**

●**講　師：ピースウィンズ・ジャパン**
橋本 笙子（はしもと しょうこ）**氏**

ピースウィンズ・ジャパンは紛争や災害、貧困などの脅威にさらされている人びとに対して支援活動を行う NGO であり、日本に本部を置き、これまで世界３４の国と地域で活動されております。その中、国内事業部次長として国内災害事業を統括され、防災士としてもご活躍されておられます。

●**申込み：令和４年２月１５日（火）までに直接またはお電話にてお申込みください。**

ボランティアさん 大募集！！

あなたの「やりたい」を応援します！

あなたの「できる」を待っています！

檜原にも、あなたを必要としているボランティアがあります。
「ボランティアをやってみたい」「自分のできることからやってみたい」と考えている方、ボランティアは、誰でも、どんな活動でも大丈夫です！！まずはお気軽に檜原村ボランティアセンターへご相談ください。

たとえば、こんなボランティアがあります

遊　ぶ
児童館等の児童施設での遊び相手

教える
趣味や特技など、子どもたちへの指導

福祉施設で
利用者のお話相手や見守り

行事参加
福祉施設の行事のお手伝い

集める
使用済み切手やアルミ缶の収集

お弁当配り
一人暮らしの高齢者の方にお弁当を配達

雪かき
高齢者のみ世帯の雪かき

美　化
施設周辺の清掃や草むしりなど

なんでも
とりあえず何かやってみたい！！

Zoom 講座を実施しました

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる話し相手ボランティアやオンライによる会議が必要となってきている中、社協ではそのツールとして使用されている Zoom の基本的な使い方を学んでいただく為、９月３０日（木）に Zoom の使い方講座を行いました。コロナ禍ということもあり、マンツーマン型の少人数制にし、２名の方にご参加いただきました。

マンツーマンで開催したことで、お一人お一人のお悩みに合わせて講座を実施することができ、参加された方から「分かりやすかった」、「楽しかった」と言っていただきました。

今後もご要望があれば２回目を実施したいと考えております。

【お申込み・お問合せ】檜原村社会福祉協議会（檜原ボランティアセンター）☎042-598-0085

高齢者在宅サービスセンターだより

新型コロナウイルス感染症の広がりも収まりつつありますが、やすらぎの里デイサービスセンターでは、様々な感染予防対策をし、事業の継続を最優先課題としてサービスの提供を行って来ました。実際にどのような点に注意しながら活動しているのか、その一部をご紹介いたします。

午前中の体操をしているときには、座席の間隔を取りながら、マスクを着用して行っています。職員は、フェースシールドを着用し、感染予防を図っています。

テーブルには、飛沫飛散予防の為のパーテーションを設置し、マスクを外した時の感染予防に努めています。

マスクや、パーテーションは、感染予防には効果があると言われていますが、耳が遠くなった高齢者にとって、相手の表情や唇の動きが見えなかったり、声が聞きにくかったりと、交流の妨げになってしまうこともあります。

一日も早く、マスクを外して楽しく過ごせる日が来ることを願っています。

ゆうあい館だより

No.23
R4 年1月発行

コロナ禍ではありますが、ゆうあい館では少しずつ活動を始めました。どこかで会ったら声を掛けてください。

10 月 15 日（金）機能訓練を兼ねて、神戸岩周辺を散策して来ました。

まずは、腹ごしらえでヒノハラテラスさんにおじゃましました。皆の好みも色々、カレーやスパゲッティに大満足。外出は久しぶりでお腹もいっぱいになったところで、神戸岩までたどり着けるかウオーキング。紅葉にはちょっと早いけど、青空が広がり気持ち良く、皆もいつもよりハイペースで『あっ』という間に着きました。「パワースポット天然記念物神戸岩」でパワーを貰ってきました。

神戸岩散策

森のおもちゃ美術館

また、11 月 19 日（金）には、今、村内で話題の施設『森のおもちゃ美術館』に早速いってきました。施設内には木の良い香りが漂い、色々な遊具が展示してありました。施設内に設置してある滑り台やけん玉に挑戦。昔に戻って楽しく遊ぶことができました。

ゆうあい館の中では、絵を描いたり、色和紙で飾り付けした風船雪だるま作りや紙皿でのリース作りを行いました。皆個性ある出来上がりです。

風船雪だるま作り

浴衣のお礼

皆様にお願いしていました、浴衣の寄付ですが、たくさんの方から浴衣や反物を頂戴いたしました。お陰様でしばらくは材料に困らず、布ぞうり作りの下準備が行えそうです。

寄付をして頂いた皆様には本当にありがとうございました。大事に使わせていただきます。

尚、引き続き、浴衣や反物のご寄付を募集していますのでご協力をお願いします。

お問合せ　ゆうあい館：☎042-598-1262